



可燃ごみの約半分は生ごみ！水切りで生ごみ減量に取り組んでみませんか？

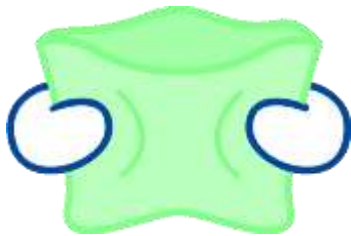


生ごみ水切りモニター募集

各種水切りグッズ等を実際に使用し、水切り前後の生ごみの重さの計量や、アンケートにご協力いただきます。

必要な器具は市から貸与し、モニター終了後進呈します！

コースは2種類！それぞれ、3つの手法で水切りに取り組んでいただきます。

A コース

シリコン製流しごみ受け	紙製水切り袋	新聞紙ごみ入れ
		
やわらかい素材でできたごみ受けです。生ごみを廃棄する前に、手で押さえて水を絞ります。	水切り穴が開いている、耐水紙の袋です。生ごみを入れ、廃棄する前に押しつぶして水を絞ります。	新聞紙を折り作成したごみ入れです。廃棄前に押しつぶして水を絞ります。

B コース

手動回転式脱水器	空き缶を使った水切り	ペットボトル水切り器
		
内部のかごに生ごみを入れて蓋をし、ハンドルを回すことで生ごみを脱水します。	空き缶の底を使って生ごみを絞ってから、手動回転式脱水器で脱水します。	ペットボトルを用いた生ごみ水切り器です。口に水切りネットを通し、引っ張ることで水を絞ります。

❖ 条件

市内在住・生ごみの減量に興味があり、調査に協力できる方（1住所1名に限る）

❖ 定員

各コース90名 計180名
応募者多数の場合は抽選となります。
必ずしも希望コースになるとは限りません。

❖ 所要期間

各条件につき7日間 計3週間程度。
連続していなくてもかまいません。
その他、事前説明会への参加、調査終了後のアンケート回答が必要です。

❖ 申し込み

- ◆ 申込書
裏面の申込書を、FAXもしくは
郵送で廃棄物対策課へ提出
- ◆ 電子申請

締切 7/20 (金) 必着

申し込みから実施の流れは裏面をチェック！



申し込みからモニター開始までの流れ

申込
下記申込書のほか、電子申請での申し込みも可能です。

決定通知
参加が決定した方には、8月上旬までにはがきでお知らせします。

説明会への出席
使用器具の配布および調査の手順等の説明を行います。
開催予定日
9/4(火)・6(木)・14(金)

調査開始
実際に水切り器具等を使用し、前後の生ごみ量を記録票に記録します。

アンケート提出
アンケートに回答し、記録票とあわせて廃棄物対策課まで提出してください。

電子申請での申し込みも可能です →

ちば電子申請サービス > 千葉市 > 手続きの検索
> 分類別検索 > 環境・ごみ・リサイクル



申込書

ふりがな					
氏名					
住所	〒 -				
電話番号			F A X		
メールアドレス	@				
年齢 (該当に○)	10代以下	20-30代	40-50代	60-70代	80代以上
希望コース	Aコース		Bコース		どちらでもよい
※必ずしも希望コースになるとは限りませんので、ご了承ください。					
家族構成	10代以下	20-30代	40-50代	60-70代	80代以上
	人	人	人	人	人
現在、水切りに取り組んでいますか	取り組んでいる (方法:)		取り組んでいない		

提出先・お問い合わせ

千葉市役所 廃棄物対策課 3R推進班

〒260-8722 千葉市中央区千葉港1-1
☎043-245-5379 FAX 043-245-5624